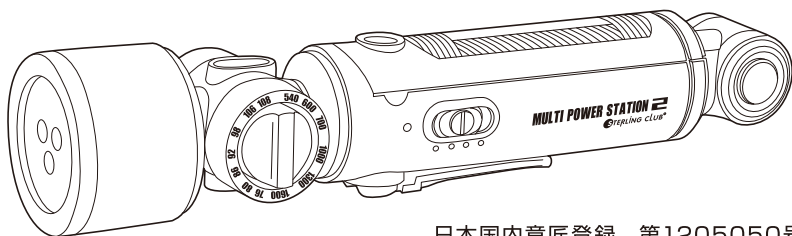


マルチパワーステーション2

取扱説明書



日本国内意匠登録 第1205050号

このたびは「マルチパワーステーション2」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。お使いになる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。本書は保証書を兼ねていますので、紛失しないよう大切に保管してください。誤った使用により生じた損害に関しましては、当社は一切責任を負いませんので、予めご了承ください。

⚠ 警告

- 点灯中のLEDライト及びLEDランタンを直視しないでください。視力障害の原因となるおそれがあります。
- ラジオやサイレンは大きな音量で聴かないでください。聴力障害の原因となるおそれがあります。
- 本製品を分解、修理、改造しないでください。発火したり異常作動するおそれがあります。
- 内部に磁石を使用していますので、磁力の影響を受ける製品の近くでは使用しないでください。
- 防水・防滴仕様ではありませんので、雨、シャワーなど水に濡れる恐れのある場所での使用は絶対におやめください。
- 乾電池は、古いものと新しいものを混ぜたり、アルカリ電池とマンガン電池を混ぜて使用しないでください。液漏れ、腐食、発火、故障などの原因となります。
- 長時間ご使用にならない場合は、乾電池を本体から抜き取ってください。そのまま放置すると、液漏れ、腐食、発火、故障などの原因となります。
- 小児の手の届かないところに保管してください。

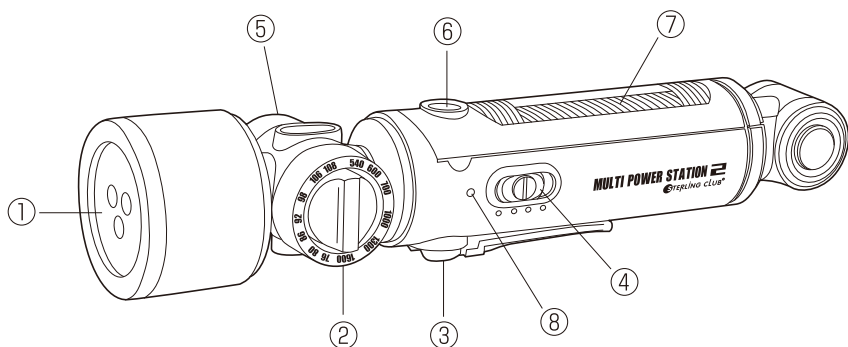
5605F マルチパワーステーション2 取扱説明書

も く じ	1
1. 基本機能	2
2. 各部名称	2
3. 付属品名称	3
4. 電 源	4
5. 電源と機能切り換えスイッチについて	4
6. 乾電池の入れ方	5
7. 携帯電話充電USBケーブルについて	6
8. 本体への充電	7
① USBケーブルを使用して外部USBポートからの充電	7
② 「太陽電池パネル」からの充電	9
③ ダイナモハンドルからの充電(ライト、ランタン、ラジオ、サイレン用)	10
9. LEDライトまたはLEDランタンを使うには	11
10. ラジオ(AM/FM/ワイドFM)を使うには	12
11. イヤホンを使用するには	13
12. サイレンを使うには	13
13. 携帯電話を充電するには(プラグイン携帯電話充電機能)	14
① 乾電池(アルカリ電池)より携帯電話を充電する方法	14
② 内部電源から携帯電話を充電する方法	15
③ マイクロUSBとType-C接続端子の携帯電話(スマートフォン)を充電する方法	16
④ アイフォーンを充電する方法	17
アップル社正規認証3in1ライトニングケーブルについて	17
14. 各機能の使用時間の目安	18
仕 様	20
ショルダーベルトについて	21
保証規定	21
保 証 書	22

1. 基本機能

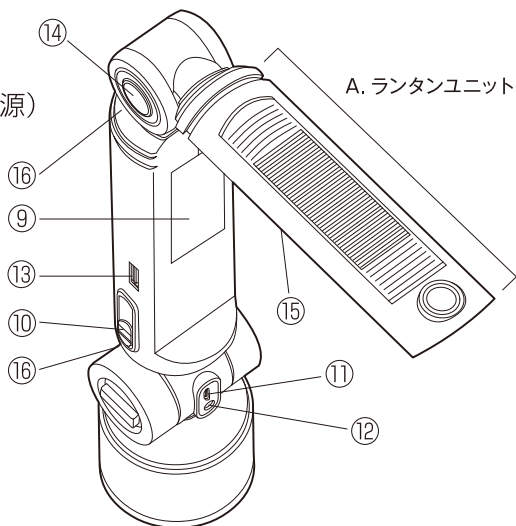
- LEDライト(白色LED3灯)
- LEDランタン(白色LED4灯)
- ラジオ(AM/FM/ワイドFM)
- サイレン(点滅灯)
- プラグイン携帯電話充電機能

2. 各部名称



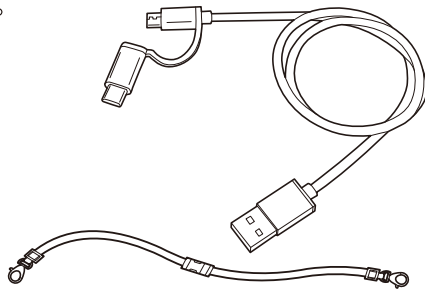
- | | |
|----------------------------------|------------------|
| ① LEDライト:点滅灯(サイレン時) | ⑤ ラジオスイッチ/音量ダイヤル |
| ② ラジオ選局ダイヤル | ⑥ ライト/切/ランタンスイッチ |
| ③ ダイナモハンドル | ⑦ 太陽電池パネル |
| ④ 機能切換スイッチ
(USB出力/FM/AM/サイレン) | ⑧ インジケータランプ |

- ⑨ 電池ボックスフタ
- ⑩ 電源スイッチ
(電源・切/電池/内部電源)
- ⑪ DC-IN端子
- ⑫ イヤホン端子
- ⑬ 携帯電話充電端子
(USB出力端子)
- ⑭ スピーカー
- ⑮ LEDランタン
- ⑯ ショルダーベルトフック
(2箇所)



A. ランタンユニット

※本体からおおよそ120度
引き上げることができます。



3. 付属品名称

- 携帯電話充電USBケーブル
対応機種

- アンドロイド
- ・マイクロUSB
- ・USB Type-C

※表記の社名または商品名は、
各社の商標・登録商標です。

- ショルダーベルト
- 大地震対応マニュアル
- 取扱説明書/保証書(本書)



4. 電 源

1. 内蔵充電電池：内蔵ニッケル水素充電電池(Ni-MH型、3.6V/600mAh)
2. 単3乾電池×3本(別売)
3. ダイナモハンドル
4. 太陽電池
5. AC/USBアダプター：5V500mA(別売)

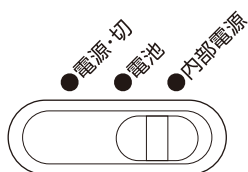
5. 電源と機能切り換えスイッチについて

※LEDライト・ラジオ(AM/FM/ワイドFM)・サイレン・LEDランタン・携帯電話充電のいずれかの機能を使う場合は、本体側面の⑩電源スイッチを「電池」もしくは「内部電源」に合わせてください。【図1】

※LEDライト・ラジオ(AM/FM/ワイドFM)・サイレン・LEDランタン・携帯電話充電の機能を使わない場合は、本体側面の⑩電源スイッチを「電源・切」に合わせてください。【図1】

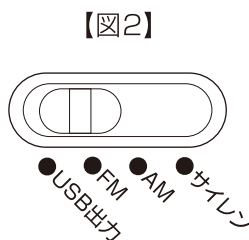
※携帯電話充電をおこなう時は本体側面の④機能切換スイッチを「USB出力」に合わせてください。【図2】

※ラジオやサイレンを使う時は、④機能切換スイッチを「FM」「AM」「サイレン」に合わせてください。【図2】



⑩電源スイッチ

【図1】



【図2】

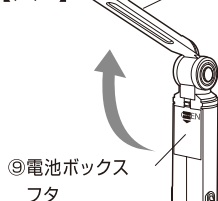
④機能切換スイッチ

6. 乾電池の入れ方

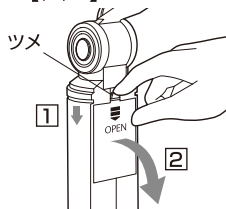
◎単3乾電池×3本使用(別売)

1. 【図1】のようにランタンユニットを引き上げてください。
 - ※⑥ライト/切/ランタンスイッチの両サイドの凹み部からランタンユニットを持って引き上げてください。
 - ※本体からおよそ120度引き上げることができます。
 - ※ランタンユニットの開閉時、それぞれ5、6回「カチッ」と大きな音が鳴りますが、故障ではありません。
2. ランタンユニットの内側の本体にある⑨電池ボックスフタを開けてください。【図2】
 - ※⑨電池ボックスフタの①ツメを下にして、②フタを取り外してください。
 - ※フタは取り外し式です。紛失にご注意ください。
3. 単3乾電池3本の方向を間違えずに正しく入れてください。【図3】
 - ※バネのある方が乾電池のマイナス側になります。マイナス側からセットしてください。
4. 乾電池で各機能を使用する場合⑩電源スイッチを「電池」側に合わせてください。
 - ※乾電池によるご使用の目安につきましては
14.各機能の使用時間の「乾電池での使用時間の目安」(19頁)を参照してください。

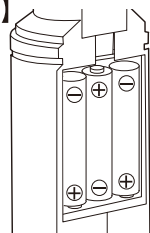
【図1】 ランタンユニット



【図2】



【図3】



※ランタンユニットの開閉時に指を挟まないようご注意ください。



乾電池についての注意

- ※乾電池は古いものと新しいものを混ぜたりしないでください。
- ※アルカリ電池とマンガン電池を混ぜて使用しないでください。
- ※長期間ご使用にならない場合は、乾電池を本体から抜き取ってください。そのまま放置すると、液漏れ、腐食、発火、故障の原因となります。
- ※乾電池が液漏れをおこした場合、手で触らないようにしてください。
- ※乾電池より液漏れをした液体が目に入った場合、医師の指示に従ってください。

- ※乾電池より液漏れをした液体が皮膚にふれたりした場合、水などで洗い流してください。
- ※皮膚に異常が発生したときは医師の指示に従ってください。
- ※スマホ充電やライト使用中に乾電池が熱くなる場合がありますが異常ではありません。
- ※乾電池が消耗してくるとLEDライトが極端に暗くなったり、ラジオの音が小さくなったり、ジーと音が鳴る事があります。その時が乾電池の寿命となりますので、新品の乾電池と交換してください。

上記の様な状態で乾電池をセットすると、液漏れ、発熱、発火及び本体の故障の原因になりますので絶対にやめてください。
間違った方法でのご使用による事故には、製造社及び販売者は責任を負いかねます。

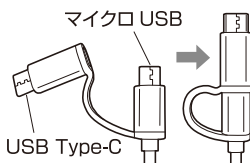
7. 携帯電話充電USBケーブルについて

対応機種：アンドロイド(USB Type-C マイクロUSB)

◎本体への充電と携帯電話の充電に使用します。

- ※本体への充電は後記の8(7、8項)をそれぞれ参照ください。
- ※携帯電話の充電につきましては、後記の13(14、15、16、17項)をそれぞれ参照ください。

接続方法：マイクロUSBの上にType-Cをかぶせてください。



使用上のご注意

注意

- 火傷や火災の原因となりますので、以下の事は絶対におこなわないでください。
- ※コネクタおよびケーブルを加工、分解する事、ケーブルを引っ張ったり、無理な力をかけたり、曲げたりケーブル上に物を置く事。電極部分が結露した状態や、水分や異物がついた状態で使用する事。
- ※ケーブルを抜き差しするときは必ずコネクタ部分を持っておこなってください。
- ※熱のこもる場所(ポケットやバッグの中、布団の中など)で使用しないでください。
- ※濡れた手で使用しないでください。
- ※本ケーブルは充電用です
- ※水気のある所、高温多湿の場所、ホコリの多い場所などでは使用しないでください。
- ※乳幼児の手の届かないところに保管してください。
- ※充電中に異常を感じた際には、すぐに使用を中止し弊社までご連絡ください。
- ※コネクタをさし込む時はまっすぐに入れてください。また抜く時もまっすぐに抜いてください。
- ※マイクロUSBコネクタを使用される場合、表/裏にご注意ください。
一方が入らない時は、逆向きにしてさし込んでください。
- ※マイクロUSBコネクタの金属の接合部分が半分入れれば接続できています。
- ※形状の異なるコネクタを無理に押し込んだりすると破損や故障の原因となります。絶対におやめください。
- ※携帯電話にケース等をしたまま充電動作をした場合、ケースの形状によっては上記コネクタのさし込みが不十分であったり、正しくさし込みができない場合がありますので予めご了承ください。(ケースを外せば正しく装着することが出来ます)
- ※一部の機種で使用できない場合がありますので、ご了承ください。

8. 本体への充電

※本体内部に蓄電池を内蔵しています。

※充電は本体内部の蓄電池に充電されます。

※蓄電池への充電は1.外部USB機器、2.AC/USBアダプター(別売)充電、3.太陽電池パネル、4.ダイナモハンドル充電の4種類の充電方法があります。

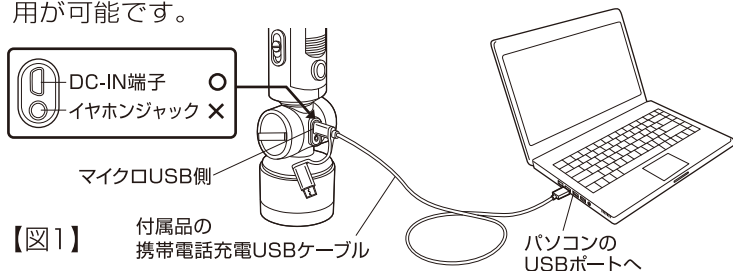
④ USBケーブルを使用して外部USBポートからの充電

※パソコンのUSBポートや別売のAC/USBアダプター(5V500mA)等を使用して家庭用コンセントから本体へ充電することができます。

(a) パソコンからの充電:

※充電は本体内部の蓄電池に充電されます。

1. ⑩電源スイッチを「内部電源」の位置に合わせてください。
※乾電池やアダプターはセットしないでください。
2. LEDライト・ラジオ・LEDランタン・サイレンなどの機能がオフになっていることを確認してください。
3. 付属品の携帯電話充電USBケーブルのUSBプラグ側をパソコンのUSBポートに差し込み、ケーブルの反対側のマイクロUSB側を本体の⑪DC-IN端子に差し込んでください。【図1】
4. この状態で本体の充電が開始され、⑧インジケータランプが赤く点灯します。
(満充電になってもランプは赤く点灯したままになります。約3時間経過しましたら、必ずパソコンから抜いてください。)
5. 約3時間で満充電になりLEDライトで約5時間、LEDランタンで約30分、ラジオで約10時間、サイレンで約30分のご使用が可能です。



注意

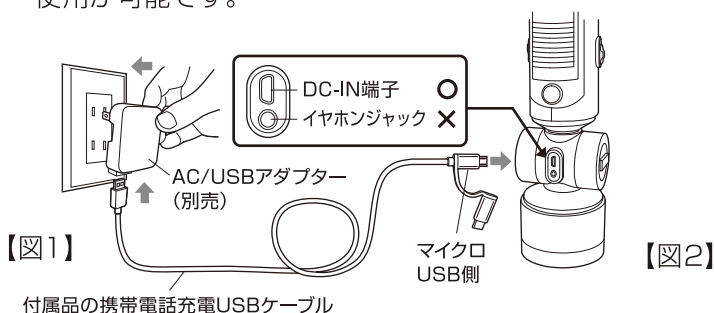
※内蔵充電電池を2時間以上充電した場合、本体側面の表示部(MULTI POWER STATION 2)周辺にある内蔵充電電池が30～40度程度熱くなりますが、性能上問題ございません。

※4時間以上連続で充電しないでください。

(b). AC/USBアダプター(別売)からの充電:

※充電は本体内部の蓄電池に充電されます。

1. 当社指定の専用AC/USBアダプター 5V500mA(品番 5848)をお買い求めください。(もしくは市販の同規格品)
2. ⑩電源スイッチを「内部電源」の位置に合わせてください。
※乾電池はセットしないでください。
3. LEDライト・ラジオ・LEDランタン・サイレンなどの機能がオフになっていることを確認してください。
4. 専用のAC/USBアダプターに付属品の携帯電話充電USBケーブルのUSBプラグ側を差し込み、図1の様に家庭用(100V)コンセントに接続してください。【図1】
5. 携帯電話充電USBケーブルの反対側のマイクロUSB側を本体の側面の⑪DC-IN端子に差し込んでください。【図2】
6. この状態で本体の充電が開始され、⑧インジケータランプが赤く点灯します。(満充電になってもランプは赤く点灯したままになります。約3時間経過しましたら、必ずコンセントから抜いてください。)
7. 約3時間で満充電になりLEDライトで約5時間、LEDランタンで約30分、ラジオで約10時間、サイレンで約30分のご使用が可能です。



注意

※内蔵充電電池を2時間以上充電した場合、本体側面の表示部(MULTI POWER STATION 2)周辺にある内蔵充電電池が30～40度程度熱くなりますが、性能上問題ございません。

※4時間以上連続で充電しないでください。

⑧「太陽電池パネル」からの充電

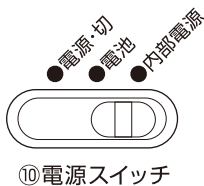
※充電は本体内部の蓄電池に充電されます。

※太陽電池パネルからの充電は、満充電を想定したものではありません。

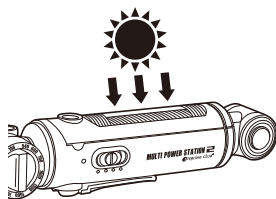
本体内蔵充電電池が少ない時に一時的に補充するためのものです。

※充電は太陽光から行います。

1. ⑩電源スイッチを「内部電源」の位置に合わせてください。【図1】
※乾電池やアダプターはセットしないでください。
2. LEDライト・ラジオ・LEDランタン・サイレンなどの機能がオフになっていることを確認してください。
3. ランタンユニット部分にある⑦太陽電池パネルを太陽光の直射日光に当ててください。太陽光の方向によってはランタンユニットを引き上げて直射日光に当ててください。【図2】
※なるべく太陽光線がパネル面に直角に当たるように置いてください。
※充電後は⑩電源スイッチを「電源・切」の位置に合わせてください。
本機をご使用になる時は「内部電源」に合わせてください。
※太陽電池による充電中に携帯電話には直接充電が出来ません。
※太陽電池による充電中は⑧インジケータランプが赤く点灯します。
※室内の明るい場所でも、⑧インジケータランプが点灯しますが、室内灯では充電しません。
※太陽電池パネルにある銀色のラインが断線している場合がありますが、太陽電池を使用するにあたって特に問題はありません。
※太陽充電を行う場合、ダイナモハンドルを100回転以上させてから太陽にあててください。より良く充電されます。
※長期間外に出さないでください。変形・変色の原因となります。
※充電時間と使用時間の目安に関しては14.各機能の使用時間の目安の表の「太陽電池による充電の目安」(18頁)を参照してください。



【図1】



【図2】

◎ダイナモハンドルからの充電(ライト、ランタン、ラジオ、サイレン用)

※充電は本体内部の蓄電池に充電されます。

※ダイナモハンドルからの充電は、満充電を想定したものではありません。本体内蔵充電電池が少ない時に一時的に補充するためのものです。

※ハンドルを回して携帯電話への充電は出来ません。

1. ⑩電源スイッチを「内部電源」の位置に合わせてください。

※乾電池やアダプターはセットしないでください。

2. LEDライト・ラジオ・LEDランタン・サイレンなどの機能がオフになっていることを確認してください。

3. ③ダイナモハンドルを本体から立ち上げてください。【図1】

4. ③ダイナモハンドルのツマミを持って回してください。【図2】

※ハンドルを回す向きは、左右どちらでも構いません。

※ハンドルを回すスピードは120回転/分のペースが適当です。
(ハンドルはゆっくりと！速く回しても充電量が増えたり充電時間が短くなることはありません。)

※ハンドルを回す時に、指をはさまないように、ご注意ください。【図3】

※ハンドルを回す際、ショルダーベルトにお気をつけください。
本体やハンドルに絡まると破損したり、ケガをする恐れがあります。【図3】

※内蔵充電電池の寿命はきわめて長く、通常の使用においては、交換の必要がありません。

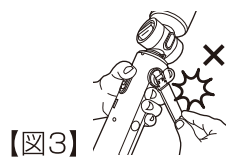
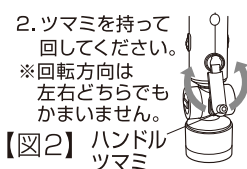
※③ダイナモハンドルの充電で、市販の乾電池およびニッケル水素電池等に充電することはできません。

※充電後、⑩電源スイッチを「電源・切」に合わせてください。

本機をご使用になる時は「内部電源」に合わせてください。

※ダイナモ充電中は⑧インジケーターランプが赤く点灯します。

※ダイナモハンドルでの携帯電話の使用時間につきましては
14.各機能の使用時間の目安の表の「ダイナモハンドルによる充電時間の目安」(18頁)を参照してください。



注意

ダイナモハンドルを本体と平行に回してください。【図2】ハンドルを本体より内側方向に強く押さえこむとハンドルが破損する恐れがあります。



禁止

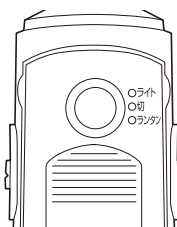
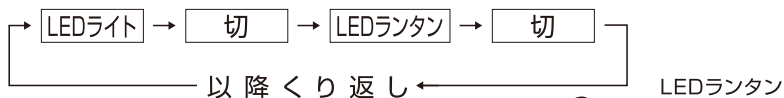
ハンドルを回す時に指をはさまないように、ご注意ください。ケガをするおそれがあります。【図3】

9. LEDライトまたはLEDランタンを使うには

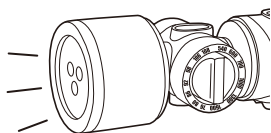
1. 乾電池で使用する場合は、⑩電源スイッチを「電池」の位置に合わせてください。内蔵充電電池で使用する場合には「内部電源」の位置に合わせてください。

(乾電池の入れ方と本体への充電に関しては前記の6・7・8(5、6、7、8、9、10頁)をそれぞれ参照ください。)

2. ⑥ライト/切/ランタンスイッチ【図1】を1回押すと①LEDライトが点灯します。【図2】もう一度押すと①LEDライトが切れます。
3. さらにもう一度⑥ライト/切/ランタンスイッチを押すと⑬LEDランタンが点灯します。【図3】もう一度押すと⑬LEDランタンが切れます。以降、点灯と切のくり返しになります。

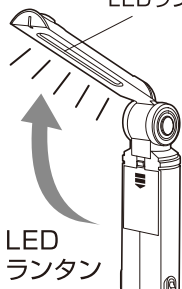


【図1】



LEDライト

【図2】



LED
ランタン

【図3】

- ※⑬LEDランタンを使用する場合は、ランタンユニット【図3】を立ち上げてください。
- ※ランタンユニットの開閉時それぞれ5、6回「カチッ」と大きな音が鳴りますが故障ではありません。
- ※①LEDライトおよび⑬LEDランタンの電球交換はできません。(寿命約4万～5万時間)
- ※①LEDライト又は⑬LEDランタンが点灯中もラジオの同時使用が可能です。



注意

ランタンユニットの開閉時に指を挟まないようご注意ください。



禁止

①LEDライト及び⑬LEDランタンが点灯している間は、光を直視しないでください。視力障害の原因となります。

10. ラジオ(AM/FM/ワイドFM)を使うには

●FM/ワイドFM周波数:76~108MHzの表示内で受信可能。

●AM周波数:540~1600kHzの表示内で受信可能。【図1】

1. 乾電池で使用する場合は、⑩電源スイッチを「電池」の位置に合わせてください。内蔵充電電池で使用する場合には「内部電源」の位置に合わせてください。(乾電池の入れ方と本体への充電に関しては前記の6・7・8(5、6、7、8、9、10頁)をそれぞれ参照ください。)
2. ④機能切換スイッチを「FM」または「AM」に合わせてください。
3. ⑤ラジオスイッチ/音量ダイヤルを時計回りに回すと「カチッ」と音がしてスイッチが入ります。更に回すと⑭スピーカーから音が鳴りますので、適当な音量に調節してください。【図2】
4. ②ラジオ選局ダイヤルを回して、お聴きになりたい放送局に合わせてください。周波数が適正な位置に合うと⑧インジケータランプが緑色に点灯します。【図1】【図3】
5. スイッチを切るときは、⑤ラジオスイッチ/音量ダイヤルを反時計回りに回し「切」の位置に合わせてください。【図2】

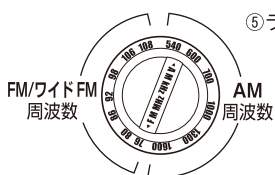
※この時「カチッ」と音がしますので必ず確認してください。この音はラジオの電源が切れる音です。さらに、⑩電源スイッチを「電源・切」の位置に合わせてください。

※ラジオを聴き終えたあと、音を小さくしただけでは電力が入ったままとなり乾電池や内部電池が消耗します。必ず「カチッ」と鳴るまで⑤ラジオスイッチ/音量ダイヤルを戻してください。【図2】

※ラジオ(AM/FM/ワイドFM)をお聴きになっている時も①LEDライト又は⑮LEDランタンを同時使用することが可能です。

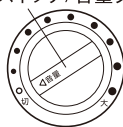
※ラジオ電波はその特性上、室内など場所によって受信しにくい場合があります。その際は本体を電波の受信状況の良い方向や場所を選んで使用してください。

※テレビやパソコンなど家庭用電化製品のそばでラジオを聴くと、ノイズが入る場合がありますので、電気機器から離してラジオをお聴きください。

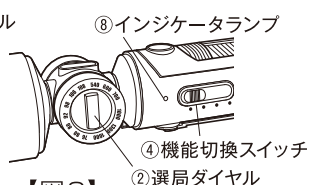


【図1】

⑤ラジオスイッチ/音量ダイヤル



【図2】



【図3】



注意

ラジオの音量の調整にご注意ください。音量ダイヤルを急激に回したり、大きな音量で聴かないようにしてください。大きな音は聴力障害などの原因になる恐れがありますので、絶対におやめください。

11. イヤホンを使用するには

※イヤホンは付属していません。お手持ちの3.5mmプラグのイヤホンをご利用ください。

※お手持ちのイヤホンを利用して、⑭スピーカーから音を消して、イヤホンだけでラジオ放送をお楽しみになれます。

※イヤホンの先端プラグを⑫イヤホン端子に差し込んでください。あとは前記10のラジオの使い方をご覧ください。



注意

音量の調整にご注意ください。イヤホンをしたまま音量ダイヤルを急激に回したり、大きな音量で聴かない様にしてください。大きな音は耳の障害になる恐れがあります。

12. サイレンを使うには

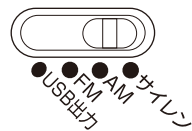
1. 乾電池で使用する場合は、⑩電源スイッチを「電池」の位置に合わせてください。内蔵充電電池を使用する場合には「内部電源」の位置に合わせてください。(乾電池の入れ方と本体への充電に関しては前記の6・7・8(5、6、7、8、9、10頁)をそれぞれ参照ください。)

2. ④機能切換スイッチを「サイレン」に合わせてください。【図1】サイレンが⑭スピーカーから鳴ります。

3. サイレンが鳴っている間は①LEDライトが点滅します。

4. サイレンを止める場合は④機能切換スイッチを「FM」または「AM」に合わせてください。

(さらに、⑩電源スイッチを「電源・切」の位置に合わせてください。)



【図1】④機能切換スイッチ



禁止

イヤホン装着時の注意

イヤホン装着時はサイレン音量はすべてイヤホン側に出力されます。サイレンを使用する際には必ずイヤホンを⑫イヤホン端子から抜き取ってください。

イヤホンをつけたままサイレンを聞くと聴力障害などの原因になる恐れがありますので、絶対におやめください。

13. 携帯電話を充電するには(プラグイン携帯電話充電機能)

※通常はお客様のお手持ちの専用充電機でお願いします。

※携帯電話への充電は緊急時の一時的な補充として、他に方法がない場合に備えたものです。あらかじめご了承ください。

1. 携帯電話の充電は下記の条件で充電が可能です。

※アルカリ乾電池からの充電。

※フル充電された本体内部電源からの充電。

2. 付属品の携帯電話充電USBケーブルの

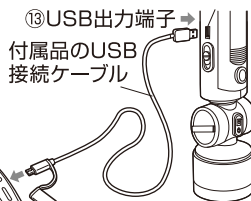
USB部を⑬携帯電話充電端子

(USB出力端子)に差し込んで

ください。ケーブルの反対側に

お手持ちの携帯電話の接続端子に

合わせてコネクタを差し込んでください。【図1】



お手持ちの携帯電話のコネクタをお選びください。

【図1】

※形状の異なるコネクタを無理に押し込んだりすると破損や故障の原因となります。絶対におやめください。

※一部の機種で使用できない場合がありますので、ご了承ください。

④ 乾電池(アルカリ電池)より携帯電話を充電する方法

※使用する乾電池は必ず新品のアルカリ電池をご使用ください。マンガン電池では充電できません。

※本体に乾電池を入れる場合、前記の6. 乾電池の入れ方(5・6項)を参照してください。

1. ⑩電源スイッチを「電池」の位置に合わせてください。

2. ④機能切換スイッチ(USB出力/FM/AM/サイレン)を「USB出力」に合わせてください。

3. 乾電池の電力で携帯電話本体が充電中の状態になりますので確認してください。

※乾電池で携帯電話の充電中はラジオやサイレンは使用できませんが、LEDライトやLEDランタンは使用できます。但し同時使用した場合、携帯電話への充電能力が低下いたします。



注意

●アルカリ乾電池より携帯電話を充電した場合、アルカリ乾電池が熱くなります。充電中もしくは充電直後はアルカリ乾電池を絶対にさわらないようにしてください。火傷をする恐れがあります。

●充電終了後15分程度は乾電池に触らないでください。

●更に充電をつぎ足したい場合は、新しいアルカリ乾電池をご使用ください。

⑧内部電源から携帯電話を充電する方法

※内部電源からの携帯電話への充電は、あらかじめ満充電された内蔵充電電池から充電が可能です。

※充電能力は内蔵充電電池の状態、携帯電話の種類の状態により大きく異なります。

※太陽充電やダイナモハンドルからの充電で携帯電話の充電は出来ません。

※本体への充電につきましては、前記の7・8(6、7、8頁)を参照してください。

1.⑩電源スイッチを「内部電源」に合わせてください。

2.④機能切換スイッチ(USB出力/FM/AM/サイレン)を「USB出力」に合わせてください。

3.本体に蓄電した電力で携帯電話本体が充電中の状態になりますので確認してください。

※充電電池で携帯電話の充電中はラジオやサイレンは使用できませんが、LEDライトやLEDランタンは使用できます。但し同時使用した場合、携帯電話への充電能力が低下いたします。



注意 内部電源に電気が残っていても、電圧電流値が低い場合は充電できません。必ず満充電にしてから始めてください。



注意 ○適合機種について

- PHSには充電できません。
- 市販されているほとんどの携帯電話に対応していますが、一部の機種で使用できない場合がありますのでご了承ください。
- 海外製の機種にはお使いになれません。
- 充電開始後すぐに「警告」や「充電をやめてください」というような表示がでてる場合もあります。その際はすぐに充電をやめてください。故障の原因となります。
- 充電ができない場合は、当社窓口にご相談ください。
- タブレットシリーズへの充電はできません。



メモリー消失に注意!

携帯電話機は当社製品の使用に関わらず、何らかの原因によって電話帳や登録情報などのメモリーが、突然消失してしまう危険性があります。登録情報はあらかじめ別の方法(バックアップ等)で控えをとっておくことを強くお勧めします。なお、本製品の使用により一時的に携帯電話が通話できなくなったり、メモリーが消失したりいたしましても、当社では責任を負いかねますので、ご了承の上、お使いください。

普段の充電は純正充電器で…

本製品のご使用はあくまで、純正の充電器が使用できない場合の一時的なご利用を想定して設計されております。日常の充電には携帯電話会社純正の充電器をお使いくださいますようお願い申し上げます。

携帯電話充電の際の安全上の注意

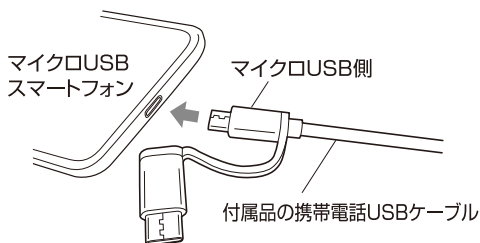
最近のスマートフォン、アイフォーンの場合、内蔵のバッテリー容量が大きくなっているため、機種により充電効率はかなり低下します。あらかじめご了承ください。

◎マイクロUSBとType-C接続端子の携帯電話(スマートフォン)を充電する方法。

※お手持ちのスマートフォンがマイクロUSB接続端子の場合

付属品の接続電話充電USBケーブルのマイクロUSB側を差し込んでください。【図1】

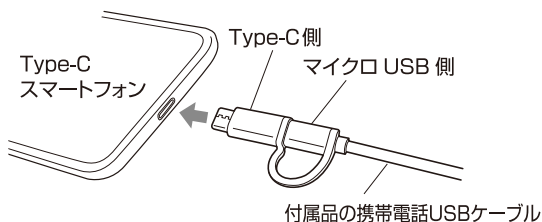
※マイクロUSB側を使用される場合、表/裏にご注意ください。一方で入らない場合は逆に入れてください。



【図1】

※お手持ちのスマートフォンがType-C接続端子の場合

付属品の携帯電話充電USBケーブルのマイクロUSBの先にType-Cを取り付けて、Type-C接続端子の携帯電話(スマートフォン)に差し込んでください。【図2】



【図2】

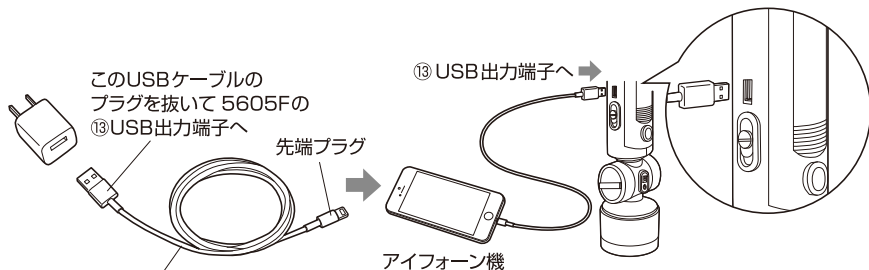
※乾電池と内部電源からの充電方法につきましては、前記の13(14、15頁)をそれぞれ参照ください。

◎iPhoneを充電する方法。

※iPhone用コネクタ(ライトニングタイプ)は付属していません。

アップル社純正のUSBケーブルを使用する。

アップル社の純正のケーブルをご使用ください。(純正ケーブルのUSBプラグを本体の⑬携帯電話充電端子(USB出力)に差し込み、ケーブルの反対側の先端プラグをお手持ちのiPhone機に差し込んでください。)【図1】



【図1】 アップル社純正ケーブル

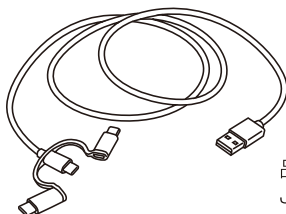
アップル社純正ケーブルのプラグのUSB部分がUSB-C(Type-C)の場合
市販のType-CやマイクロUSBからライトニングへの変換アダプターをお買い求めいただき、付属の携帯電話充電USBケーブルのType-C側やマイクロUSB側に接続させて使用してください。(もしくは同等規格品をお持ちの場合は、そのままご利用可能です。)

アップル社正規認証3in1ライトニングケーブルについて

弊社ではアップル社正規認証ライトニングコネクタとUSB Type-C、マイクロUSBの付いた3in1ライトニングケーブルを別途お買い求めいただけます。このケーブル1本でほとんどのスマホに対応しています。アップル社正規認証を獲得していますのでiOSのアップデートにも対応しています。

データ通信の規格は、USB2.0規格準拠となります。ライトニング接続時は、最大2.4A出力が可能です。(ただし、出力側の機器が対応している必要があります。)

※USB PDには非対応



Made for
iPhone | iPad | iPod

品番:5871
JAN:4511793008280

※乾電池と内部電源からの充電方法につきましては、前記の13(14、15頁)をそれぞれ参照ください。

14. 各機能の使用時間の目安

※諸条件により使用時間は異なります。この表はあくまでも目安であり、必ずしもお約束できるものではありません。おおよその目安になりますので、あらかじめご了承ください。

※LEDライトやLEDランタンとラジオを併用使用した場合、使用時間の目安は短くなります。

◎『ダイナモハンドルによる充電の目安』

※手巻きハンドルを120回転/分のペースで回してください。

機 能	360回転 (3分間)	備 考
LEDライト	約8～10分	徐々に光が弱くなります。
LEDランタン	約1～2分	徐々に光が弱くなります。
ラ ジ オ	約15分	音量によります。
サイレン	約1分	徐々に音量が小さくなります。

※上記の表はあくまでも目安です。使用条件、環境などにより効率が異なりますのでご了承ください。回転数を増やせば、さらに長時間の使用が期待できます。

◎『太陽電池による充電の目安』…受光時間3時間の場合

機 能	太陽電池に よる充電	備 考
LEDライト	約30分	15分以降、徐々に光が弱くなります。
LEDランタン	約1～2分	徐々に光が弱くなります。
ラ ジ オ	約30分	音量によります。
サイレン	約1～2分	徐々に音量が小さくなります。

※充電効率は太陽光の強さ、ソーラー面と光が当たる角度などの諸条件により異なります。上記の図はあくまでも目安です。

◎外部USBポート(パソコンもしくはAC/USBアダプター)による充電の目安』(満充電にするには約3時間必要です)

機能	連続使用時間	備考
LEDライト	約5時間	徐々に光が弱くなります。
LEDランタン	約30分	徐々に光が弱くなります。
ラジオ	約10時間	音量によります。
サイレン	約30分	徐々に音量が弱くなります。
携帯電話	約50分	連続通話時間
携帯電話	約40時間	連続待ち受け時間

※携帯電話への充電は機種や状態により大きく異なります。緊急時の一時的な補充として、他に方法がない場合に備えたものです。あらかじめご了承ください。

◎『乾電池での使用時間の目安』

(日本製アルカリ乾電池単3×3本ご使用時)

機能	連続使用時間	備考
LEDライト	約48時間	徐々に光が弱くなります。
LEDランタン	約5時間	徐々に光が弱くなります。
ラジオ	約60時間	音量によります。
サイレン	約3時間	徐々に音量が弱くなります。
携帯電話	約100分	連続通話時間
携帯電話	約50時間	連続待ち受け時間

※携帯電話への充電は機種や状態により大きく異なります。緊急時の一時的な補充として、他に方法がない場合に備えたものです。あらかじめご了承ください。

○仕 様

- ・LEDライト：白色LED3灯
- ・LEDランタン：白色LED4灯
- ・受信周波数：AM:540~1600kHz FM/ワイドFM:76~108MHz
(ラジオ)
- ・アンテナ：FM/内蔵アンテナ AM/内蔵フェライトパー
- ・電 源：内蔵ニッケル水素充電(Ni-MH型、3.6V/600mAh)
単3乾電池×3本(別売)、太陽電池、手巻きダイナモ、
AC/USBアダプター：5V500mA(別売)
- ・発 電 機：ダイナモハンドル(双方向回転式)
- ・付 属 品：携帯電話充電USBケーブル
対応機種
○アンドロイド
・マイクロUSB
・USB Type-C
ショルダーベルト
大地震対応マニュアル
取扱説明書/保証書(本書)
- ・イヤホンジャック：3.5mmジャック イヤホン(別売)
- ・本体寸法：69×69×343mm
- ・本体材質：ABS樹脂
- ・使用温度：-10~40℃

※単3乾電池は付属していません。

※家庭電源用AC/USBアダプターは付属していません。当社指定品のマルチパワーステーション2用AC/USBアダプター(品番5848)を別途お買い求めください。

製品保管時のご注意

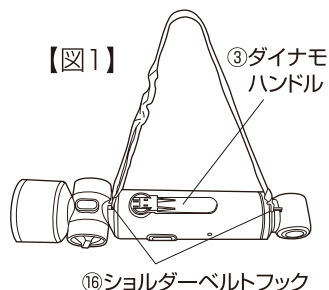
本体内蔵の充電電池は特性上、自然放電を起こします。放電した状態が続きますと寿命が短くなる恐れがありますので、年に4、5回程度ハンドル充電やUSBによる充電を行うようにしてください。

ショルダーベルトについて

※付属品のショルダーベルトを⑯ショルダーベルトフック(2箇所)に取り付けると持ち運びが便利になります。【図1】



③ダイナモハンドルを回す際、ショルダーベルトがからまない様にご注意ください。ハンドルが破損したり、指がはさまりケガをする恐れがあります。





※商品改良のため、予告なく商品の仕様が変更されることがあります。
※説明書本文に記載の社名や商品名・固有名詞は、各社の商標または登録商標です。